

生化学検査について

検査項目	検査法	説明	明
A L T (GPT)	UV method IU/ℓ	肝臓に最も多く含まれる酵素です。肝臓がダメージされると血液中に流れ出すので、急性肝炎で最も強く上昇し、慢性肝炎や胆管炎(胆管)などでも上昇します。激しい運動の後に一過性の上昇がみられることがあります。	
A S T (GOT)	UV method IU/ℓ	心臓や肝臓に多く含まれ、腎臓、膵臓、血球にも認められる酵素です。心筋梗塞や急性肝炎、アルコール性肝障害などで上昇します。その他運動の後に一過性の上昇がみられることがあります。	
γ-G T P	Rate Assay IU/ℓ	肝、胆管、膵、腎などに多く含まれる酵素です。上昇する状態は胆管性異常、肝臓、アルコール性肝障害などです。病変がなくても年齢の若者での上昇することが多く1ヶ月程度続くことがある症例も報告されています。	
総蛋白 TP	near method g/dℓ	血液中には総蛋白以上の蛋白質が含まれ、種々の機能をもち、生命維持に大きな役割を果たします。その総量を総蛋白として測定しています。	
アルブミン ALB	BCL method g/dℓ	血清蛋白の50%以上を占めるアルブミンは、病変などで栄養が乏しくなると減少するため、栄養状態のスクリーニングとして大きな意味があります。	
アルブミン対グロブリン比 A/G		血清蛋白はアルブミン(A)とグロブリン(G)に分けられ、その比率は健康な人では一定の範囲にあります。病変によってはその比率が変化(主として減少)してきます。	
コレステロール CHOL	Enzyme assay mg/dℓ	血清脂質の一つで、一般に脂肪の多い食事を取っていると上昇します。また肝臓などで作られ、肝、胆管、膵、甲状腺の疾患でその値が上下することがあります。血清コレステロールが多くなると動脈硬化を促進しやすくなるとされています。	

血球計数検査について

検査項目	単位	説明	明
赤血球数 (RBC)	$\times 10^4 / \mu\ell$	赤血球は血液の主成分で、酸素を肺から各細胞へ運ぶ働きを持っています。	
ヘモグロビン量 (Hb)	g/dℓ	血液の赤い色は赤血球に含まれるヘモグロビン(赤色素)によるもので、赤血球の働きの中核となっています。	
ヘマトクリット値 (Ht)	%	ヘマトクリット値(一定量の血液に対する赤血球の割合(容積))をパーセントで表したものです。	
平均赤血球容積 (MCV)	fℓ	赤血球1個の平均的容積。それぞれの赤血球の大きさの指標となるもので、赤血球数とヘマトクリット値から算出したものです。	
平均赤血球ヘモグロビン量 (MCH)	pg	赤血球1個に含まれるヘモグロビン量を平均的に表したもので、赤血球数とヘモグロビン量から算出したものです。	
平均赤血球ヘモグロビン濃度 (MCHC)	%	赤血球の一定容積に対するヘモグロビン濃度をパーセントで表したもので、ヘモグロビン量とヘマトクリット値から算出したものです。	
白血球数 (WBC)	$\times 10^2 / \mu\ell$	白血球は細菌などを食害し、免疫機能を行使し、さらに免疫反応を促進して身体防御にかかわっています。感染症などがあると一過性白血球数は増加しますが、ウイルス感染症の場合はかえって減少することもあります。	
血小板数 (PLT)	$\times 10^4 / \mu\ell$	血小板は止血を止めるための重要な働きを持ち、この値が低下すると出血を起こしやすくなります。	

\*検査項目①～③の値は貧血の有無を知る目安となり、貧血の割合、検査項目④～⑥の値がその種類の判定の目安となります。

これらの検査項目で、あなたが健康であるか否かを判断することはできません。 99.04.01

ウコン茶を朝晩一本ずつ2ヶ月間

飲んだ結果、GPT、GOT、γ-GPT  
及びコレステロールが全て標準値に  
戻りました。  
ちなみに「晩酌は欠かさない」そうです。

0 631 04164  
31-07881414 H11/06/01 31-0324-6976 0

愛知県赤十字血液センター

〒489-8555 瀬戸市南山口町539-3  
TEL (0561) 84-1131

愛知県豊橋赤十字血液センター

〒441-8083 豊橋市東脇3-4-1  
TEL (0532) 32-1331

- ご案内は内側にあります。ここから、ゆつくりとはがしてご覧ください。
- 水に濡れている場合は、乾いてからはがしてください。

I. 血液型のお知らせ

血液型はご自身で献血手帳にご記入いただくか、この通知書を次の献血時にお持ちいただければ血液センターで血液型印を押印いたします。

あなたの血液型は ABO式 **O**

Rh式 **プラス** です。

献血者コード **31-07881414**

II. 検査成績のお知らせ

この生化学検査は、性別、年齢、食事などによって差が出てくる場合がありますので、あらかじめお読みください。400ml献血、成分献血にご協力いただいた方に、生化学検査に加えて血球計数検査を実施しております。

献血年月日 (前)	H11年 06月 01日	採血番号	31-0324-6976
	H10年 06月 01日		

200me · 400me · 成分献血者			
検査項目	標準値 <sup>1)</sup>	今回の値	前回の値
ALT (GPT)	5~45 IU/ℓ	37	130#
AST (GOT)	11~37 IU/ℓ	32	72#
γ-GTP	10~65 IU/ℓ	60	162#
総蛋白 TP	6.5~8.2 g/dℓ	6.6	7.4
アルブミン ALB	3.9~5.0 g/dℓ	4.4	4.2
アルブミン対グロブリン比 A/G	1.2~2.0	2.0	1.3
コレステロール CHOL	110~250 mg/dℓ	153	252#
採血種類		400ml	400ml

400me · 成分献血者			
検査項目	標準値 <sup>1)</sup>	今回の値	前回の値
赤血球数 RBC	男性 425~570 女性 375~500 $\times 10^4 / \mu\ell$	491	496
ヘモグロビン量 Hb	男性 13.3~17.4 女性 11.2~14.9 g/dℓ	15.5	16.0
ヘマトクリット値 Ht	男性 39.0~50.4 女性 34.0~44.0 %	45.5	45.6
平均赤血球容積 MCV	80.0~100.0 fℓ	92.7	91.9
平均赤血球ヘモグロビン量 MCH	26.0~34.0 pg	31.6	32.3
平均赤血球ヘモグロビン濃度 MCHC	32.0~36.0 %	34.1	35.1
白血球数 WBC	35~100 $\times 10^2 / \mu\ell$	67	68
血小板数 PLT	14.0~38.0 $\times 10^4 / \mu\ell$	24.0	22.3

1) 上記の標準値は、献血を希望された方々の検査結果から算定したもので、正常または異常を表すものではありません。  
\*表示のある方は、検査用検体の不良等で検査することができませんでした。  
#表示のある方は、標準値からはずれていますので医療機関での受診をお勧めします。  
検査項目の説明は裏面に印刷してありますのでご覧ください。